

第2回 低用量曝露による過敏性症候群の予防と対策特別研究委員会  
議事録

記録：長谷川

- A. 日 時：2006年8月8日 13:00～15:00
- B. 場 所：日本建築学会会議室
- C. 出席者：＜委員長＞吉野 博 ＜幹 事＞加藤信介，田辺新一  
＜委 員＞村上周三，池田耕一，坊垣和明，大澤元毅，石川 哲，藤原直秀，  
長谷川兼一  
＜オブザーバー＞弘瀬 将光，渡辺利沙 (順不同，敬称略)
- D. 資 料：No.2-0 議事次第  
No.2-1 委員会名簿  
No.2-2 2006年度開始特別研究委員会設置提案書  
No.2-3 第1回 議事録  
No.2-4 検討課題のキーワード  
No.2-5 研究テーマと委員会の名称についての改定案  
No.2-6 Healthy Building 2006 報告資料1(吉野)  
No.2-7 Healthy Building 2006 報告資料2(篠原)  
No.2-8 Healthy Building 2006 報告資料3(池田)  
No.2-9 住宅の Dampness に起因する健康影響に関する調査研究  
No.2-10 住宅の Dampness が居住者の健康に及ぼす影響に関する検討  
No.2-11 ホームページ作成方針・案
- E. 議 事
1. 委員構成の確認が行われた。前回推薦を受けた森千里先生，篠原直秀先生，坂部貢先生の本委員会への参加について了承が得られている。(資料 No.2-1, 2-2)
  2. 前回議事録の確認が行われ，了承された。(資料 No.2-3)
  3. 資料 No.2-4 に基づき，本委員会での検討課題について確認された。キーワードは毎回確認し，その都度，加筆・修正を施していく。
  4. 資料 No.2-5 に基づき，本委員会の研究テーマと委員会の名称の変更について検討された。研究テーマの名称は，「生物・化学要因による汚染の健康障害に関する建築学，医学，化学などの多領域からの予防，診断，治療，対策に関する研究」，委員会の名称は「生物・化学汚染による健康障害の建築的対応」特別研究委員会とする。今後，学術推進委員会へ変更の申請を行う。
  5. 本委員会ホームページ(HP)の作成方針について検討され，資料 No.2-11 の案に作業を従い進めることとなった。HP へは，議事録を掲載するとし，適宜，関連情報をリンクさせる。また，委員会内での発表用資料は発表者の承諾が得られた場合に掲載する。
  6. Healthy Building 2006 会議報告が，吉野委員長，篠原委員，池田委員より行われた。(資料 No.2-6, 2-7, 2-8)
  7. 話題提供(資料 No.2-9, 2-10)は次回以降に行う。
  8. 次回：10月17日(火) 16:00～18:00 於：建築会館会議室